

■坂田教育長より、メッセージを頂きました。



合唱コンクール午後の部に、清瀬市教育委員会の坂田教育長が来場されて、3年生の演奏をご鑑賞くだり、3年生へのメッセージと、クラス合唱へのコメントを頂きましたので、ご紹介させていただきます。

「第二中学校 3年生の諸君へ」

教育長の坂田です。合唱コンクール、参観させてもらいました。時間の関係で3年生の演奏しか聞けなかったことは残念ですが、皆の歌声から最上級生としての誇りと自信を感じ取ることができたことは最高に喜ばしいことでした。

1, 2年の後輩たちは、きっと諸君のステージ上の態度、歌声、そして今日に至るまでの練習の様子を観て、聴いて、感じて、伝統を引き継ぐ「覚悟」と「責任」、数年後に皆のような3年生になる「喜び」や「楽しみ」、「3年生のように歌いたい！」という「あこがれ」や「目標」を心に宿してくれたのではないかと思います。

振り返ってみれば、昨年のコンクールでは現在高校1年生の先輩方の歌声を聞いて、また一昨年のコンクールでは同じく高2の先輩方の演奏に触れ、同じ思いを持ったはずです。こうやって「伝統」は創られていくのです。

「伝統の一ページ」を創り上げてくれた3年生諸君に、一言だけコメントを贈りたいと思います。加えて「ここを改善すると、より合唱が素晴らしい！」というポイントも伝授します。

5か月後にはよいよ卒業です。皆のことです。きっと全力で、そして3年間(9年間)の思いを込めて、式歌を歌いきってくれることでしょう。私のコメントがその日に向けた参考になればこの上なき幸せです。

学年合唱

すごい迫力。3年になると声量も、響きの厚みも、グッと伸びます。まさに皆の演奏は、
(技術的な成長)×(3年としての誇りや自信)×(行事を成功させようという決意や責任感)×(クラスメイトとの絆や感謝の想い)の四つが掛け合わされた演奏と言えるものでした。

コンクールは勝負事。1位、金賞、最優秀賞…、こんな「目に見える成果」を目指すのは当然です。しかし皆の演奏はそれだけではなかったように思えます。それはいずれの学級においても、クラス紹介で実行委員が、己のクラスを誇りとし、共に歌えることを喜び、感謝し、尊ぶ想いを述べていたからです。

「どれだけ自分の努力に満足できるか」「どれだけこの行事に前向きに取り組むことができたか」「どれだけ合唱祭テーマを追い求めることができたか」、そして「どれだけクラスの皆と歌うこの時を大切にできるか」といった「目に見えない結果」を目指してきたからこそ、感動を呼んだのではないかと思います。

卒業式ではきっと素晴らしい合唱を聴かせてくれることでしょう。
さてクラス合唱です。

3年3組

課題曲、全員が意欲的に声を出している。課題に対して懸命に、そして真摯に、何よりも意欲的に向き合う姿は感動以外の何ものでもありません。「さすが3年」です。そのような中でも、フレーズ(音楽やメロディー、歌詞のかたまりのこと)について研究してみてもいいかもしれません。例えば「我ら人の子の」は一つのフレーズであって、「我ら」と「人の子の」の間でブレスを採ることは音楽の流れを途切れさせ、曲に込めた思いが伝わりにくくなってしまいます。「フレーズを考えて音楽を創る」これができれば3組の合唱は数段アップすることでしょう。自由曲「手紙」。この曲はNHKコンクールの課題曲でもあり意外と難しい。しかし3組は曲のメッセージをしっかりと受け止め、自分たちの想いと願いを重ね合わせて表現することができ、結果3組だけの「手紙」を創り上げることができました。この学級の最大の特徴は響きの透明感です。15歳の純粋、素直、まっすぐな心を表現するにぴったりでした。この歌を歌うことで得た「何か」、例えば「生きる意味」や「自分を信じることの大切さ」等を、きっと皆は大切にしてくれるだろう…、そう信じられるような合唱でした。



3年2組

クラス紹介での実行委員の言葉、「私についてきてくれてありがとう！」は感動。こうやって沢山の人の前で、感謝の言葉が伝えられるということは、確かな信頼関係の証。心が通い合う素晴らしい学級なのでしょう。課題曲は強弱の変化にポイントを置いて表現を工夫していた点に注目。強弱は音楽を形作る重要な要素の一つであり、メッセージを届けるための表現の幅を広げる効果的な手段です。練習を重ねたことが伝わります。自由曲については特に Sop パートの透明感のある発声と、繊細な表現が心に届きます。中間部の響きもとてもきれいな。全ての音楽にはドラマがある。この「青い鳥」はどんなドラマなのか、どんな声を出して、どんな歌い方をすればそのドラマは再現できるのか…。是非みんなで考え、議論し、試し、創り上げてほしいと思います。反面、「譜面に示された音符の



高さや長さで歌う」という基礎の取り組みについてはやや練習不足が感じられました。「基礎」や「基本」はあたかも薄紙を一枚一枚積み重ねるような根気がある営みです。しかしこの「基礎」が出来上がれば少しのことでは揺らぐことはありません(「砂上の楼閣」という言葉を知っていますよね?)。応用もききます。「揺らぐことがない基礎」にもう一度目を向け、そのトレーニングをする…。そうすれば3-2の合唱は最強です。期待が大きいと要求も高くなるものです。

3年1組

自由曲「エール」。この曲もNHKコンクールの課題曲。難しい曲だけれど歌詞とメロディーが卒業を5か月後に控えた3-1の皆の心を打ったのだと思います。それが証拠に、曲の出だしのSopのユニゾン(皆で同じメロディーを歌うこと)から、きれいな女声の響きに皆の想いや願いが乗り、客席に届いてきました。男声も合唱を引っ張っていて、なおかつ響きに厚みを与えている。「音楽は生き様を表す」といいます。人が生きてきた中で手に入れることができた経験や想い、願いが曲の中に映し出されるのです。心から幸せな経験をした人は喜びにあふれたキラキラとした音楽を奏でることができるし、人の温かさをたくさん経験した人は、心に染み入るような暖かな音楽を創ることができるのです。3-1はこの音楽の「本質」に確かに一歩近づきました。きっと5か月後には素敵な合唱を歌いあげてくれるはずです。課題曲も男声もしっかりと全体を支えていて素敵な四部合唱だったこともブラボーです。エールは細かなリズムに乗って細かな言葉が歌詞として歌われます。一つ一つの言葉を「ちょっとやりすぎかな…」と思うくらいはっきりと歌う、そうしなければ伝えたいメッセージも伝えきれません。ぜひ研究してみてください。



3年4組

自由曲は「道」。「エール」と同じポップスが原曲ですので、合唱で歌うには難しい曲。しかしメロディーも歌詞も中学生の心情にぴったりで4組メンバーの心に響いたのでしょう。皆は、2年半の中学校生活を通して「本当の意味での協力」を学んできました。人は簡単に「協力」という言葉を使います。しかし「協力」はそれほど簡単なことではありません。一つの目標に向かって、本気と本気がぶつかり合うことを積み重ねながら、少しずつ生まれてくるもの。まとまり感のある4組の合唱はまさに「真なる協力」によって創り出されたのでしょう。課題曲も男声の安定感はピカー。特に「我ら人の子の～」の力強さには圧巻でした。女声の響きもgoodです。課題は「息の使い方」です。f(フォルテ=強く)の際、力任せに強い声を出そうとすると途端に響きが失われます。同じようにp(ピアノ=弱く)の時に、息のスピードが落ちてしまうと弱弱しいサウンドになる。fは「強く」ではなく「豊かに」、pは「弱く」ではなく「柔らかかに」、そう感じるだけでも響きが変わってきます。試してみましょう。



音楽は直接心に訴えかけ、揺り動かすもの。音楽を聴いているうちに涙が出てきてしまう経験、落ち込んでいた気持ちが元気になる経験、これこそが音楽の「不思議な力」です。「音楽の不思議な力」を発揮するためには、演奏者が音楽に「生命」を吹き込む必要があります。音楽から自分は何を感じ取ったのか、そこからどのようなメッセージを伝えようとしているのか、そのメッセージを伝えるために、どのような工夫をするのか、それらを考え、試し、己の想いに近づけていく努力ができるか否かが、音楽はただの「音の羅列」になるか「生命を宿すか」の分かれ道になるのです。

音楽に生命を宿すには、自分たちの曲を大切に、自分たちにしかできない曲に「育て上げる」こと。練習が思うように進まず、悔しく思った気持ち、仲たがいをしてしまった後悔、心通ったときの喜び、合唱が出来上がったときの心地よさ、このような様々な経験や想いを一つ一つの音に、メロディーに、リズムに込めることによって、単なる「音」に心が宿り、「音楽」へと育っていくのです。

3年生諸君はあと5か月で卒業です。受験という壁を乗り越え、日々別れの日が近づく寂しさを体験し、心も行いも義務教育の総まとめの日々を送ることで、また一回りも二回りも成長し、卒業の日を迎えてくれることでしょう。そしてこの5か月間で、再び自分たちの手で式歌を立派に育てあげ、友、先生、親への感謝の想い、未来への決意を、心を込めて全力で表現してくれることでしょう。

素晴らしい合唱祭をありがとう。高校生になっても、また大人になっても、音楽といつまでも仲良しでいてください。最後に輝く未来を生きる君たちにエールを！ 二中3年生諸君に幸多かれ！

令和6年10月23日

清瀬市教育長 坂田 篤



※ いただいたメッセージは、各学級で、生徒たちに、ご紹介させていただきました。

◆ 生徒の主な活躍の紹介 おめでとうございます。



【令和6年度 税の標語】

清瀬市商工会会長賞 3学年生徒 作品「社会保障 たすけるみんなの 消費税」
東京都税理士会東村山支部長賞 3学年生徒 作品「消費税 私も納める 明日のため」

【令和6年度 税についての作文コンクール(清瀬市)】

清瀬市長賞 3学年生徒 作品タイトル「未来への投資を」
東京税理士会東村山支部長賞 3学年生徒 作品「税金が使われる「道」」

【令和6年度 歯と口の健康に関する図画・ポスターコンクール(東京都)】

中学ポスターの部 佳作 3学年生徒



【令和6年度清瀬市教育の日「ヒブリオ・フォーラム」】 書評発表学校代表

2学年生徒 推薦図書「響け！ユーフォニアム 北宇治高校吹奏楽部へようこそ」竹田洋和
2学年生徒 推薦図書「また、同じ夢を見ていた」住野よる著

【全国中学生人権作文コンテスト(東京大会)】

清瀬市代表 3学年生徒 作品タイトル「より良い社会のために」
3学年生徒 作品タイトル「理解と人権」



【社会を明るくする運動(東京都) 作文コンクール】

清瀬市代表 2学年生徒3名

《剣道》

■第63回 東京都中学校第11ブロック秋季大会 主催：東京都中学校体育連盟

●女子個人の部 第2位 1学年生徒

※家庭配布版では、生徒の氏名をご紹介しています。

11月 学校行事予定



| | |
|------------------------|------------------------------|
| 10月30日(水) 3年三者面談～8日(金) | 15日(金) 期末考査(体・数・英・理) |
| 11月 3日(日) 文化の日 | 18日(月)・19日(火) 3年赤ちゃんのカプロジェクト |
| 4日(月) 振替休日 | 22日(金) 3年認知症サポーター養成講座 |
| 6日(水) プール授業1年・2年12組 | 23日(土) 勤労感謝の日 |
| 7日(木) 定期考査週間始、部活動休止期間 | 24日(日) 3年スピーキングテスト |
| 11日(月) 学校朝礼、安全指導 | 25日(月) 生徒会朝礼・中央委員会 |
| 13日(水) プール授業1年・2年12組 | 28日(木) 専門委員会 |
| 14日(木) 期末考査(技家・音・国・社) | 29日(金) 避難訓練 |



■学校ホームページもご覧ください。

10月の学校・合唱コンクールの様子は、学校HPに掲載してあります。下記アドレス又は右記QRより、アクセスできます。

①「清瀬二中 R6 合唱コンクール album」

<http://www.kiyose.ed.jp/kiyosedainityuugakkou/yousu/2005914/2006367.html>

②「清瀬二中 R6 10月 album」

<http://www.kiyose.ed.jp/kiyosedainityuugakkou/yousu/2005914/2006348.html>

①



②

